

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスキラキラ上台				公表日	令和7年3月未定日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	事業所内に段差箇所あり。部屋数の少なさや部屋の広さにやや難あり。	事業所内の段差等については適宜掛けや張り紙等に対応していきます。利用人数に応じて配置を工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	送迎先をまとめ効率化を図っている。	安全に送迎が可能なように日々注意喚起していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	現在の利用児童に合った環境となっている。必要な箇所には簡易的な椅子を配置するなど工夫をしている。	必要に応じて施設内の環境を調整していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	活動によって配置を工夫している。	利用人数や活動に応じて事業所内の環境を調整していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室においても職員の目が届く工夫をしている。	継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々情報共有のミーティングを実施している。	継続していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回の頻度で全利用者に対してアンケートを実施し分析、改善に努めている。	継続していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的な職員面談を実施している。	継続していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	現段階では未実施。	今後、導入見込みとなっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月1回の社内研修へ参加している。	継続していきます。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		成長療育システムを使用し作成公表している。	継続していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々のミーティングによる情報共有と適宜計画書の見直しを実施している。	継続していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		作成時に全職員で話し合いを行っている。	継続していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書作成後、スタッフへ周知し閲覧できるようにしている。	継続していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	成長療育システム内のフォーマットを使用し利用者に対して共通のツールで作成している。	継続していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		職員全体で作成された計画書について話し合いを行い、左記項目が満たされているか確認をしている。	継続していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		事業所内のスタッフで話し合いの下、行っている。	継続していきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日替わりでその日の活動を変更している。	継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		利用時に合わせてその日の活動内容を変更している。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	適宜、支援について職員間で話し合いを行っている。	話し合いの頻度について今後見直しが必要な部分もありますが、積極的な話し合いを継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	適宜、支援について職員間で話し合いを行っている。	同上。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援を記録し保管している。	継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にご家族と面談する機会を設けてモニタリングを実施。定期的に計画書の見直しを行っている。	継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		「孤立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」の4つを意識し日々の活動を計画している。	「地域交流の機会の提供」については頻度が少なく今後見直しを図っていきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		利用時の自主性を尊重した活動（子供通しでの話し合いの開催等）を実施している。	継続していきます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	4	管理者あるいは児童発達管理責任者が参加している。	どの職員でも参加が可能なように今後、準備をしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	地域の連絡会へ参加し情報収集に努めている。	頻度や体制についての整備が今後の課題として挙げられます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校からのお知らせ等を保護者を通じて受け取れるように保護者への連絡と報告を密に実施している。	継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	実施する機会があったが頻度に課題がある。	頻度と内容の見直しを図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	当事業所内で該当児童無し。	今後、適宜実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		現段階では未実施。	今後、実施を検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		現段階では未実施。	今後、定期的な実施を検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	定期的に管理者が参加しています。	今後も継続して参加していきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時に保護者との情報共有を図っています。	継続していきます。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		現段階では未実施。	今後、定期的な実施を検討しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明をしている。	継続していきます。必要に応じて適宜説明を行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的に面談を実施している。	継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		定期的な面談と共に計画書の説明と同意を行っている。	継続していきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的な面談の実施と共に希望時や必要時に面談や相談を実施している。	継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	現段階では未実施。	今後、実施を検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		窓口を設置し対応をしている。	継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ブログにて発信を行っている。	継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		定期的な研修の参加と共に意識啓発を図っている。	継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		利用児にやご家庭に合わせて情報伝達を行っている。	継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	現段階では未実施。	今後実施を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルを作成し、事業所内に掲示している。定期的な訓練を実施している。	周知の方法と訓練の実施頻度に課題があるため、今後検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し事業所内へ掲示している。定期的な訓練の実施、研修へ参加している。	訓練の実施頻度に課題あり、今後検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認をしている。適宜受診等で内服等に変化があった場合、情報提供を促している。	継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		現在該当児童なし。契約時に確認している。適宜情報提供を促している。	継続していきます。適宜必要時に対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し事業所内に保管。職員が閲覧可能な場所へ保管している。	継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に説明を行っている。	継続していきます。必要時説明を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事業所内で作成共有後、話し合いを定期的に行っている。	継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に研修へ参加している。	継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に説明を行っている。その旨を計画書へ記載しご家庭へ説明、交付している。	継続していきます。	